

Press Release

H  
A  
K  
U

美容医療か。美白美容液か。  
「HAKU メラノフォーカスZ」誕生  
進化したHAKUで、「シミのもと無限ループ」にまでアプローチ。

～2021年3月21日(日)発売～

資生堂は、15年連続美白美容液売上No.1<sup>\*1</sup>の美白ブランド「HAKU」から「シミのもと無限ループ」にまでアプローチする薬用美白美容液「HAKU メラノフォーカスZ」(医薬部外品)【全3品目3品種 参考小売価格 3,700円～10,000円(税込 4,070円～11,000円)】を2021年3月21日(日)に発売します。

\*美白は、メラニンの生成を抑え、シミ・そばかすを防ぎます。

\*価格は参考小売価格です。(店舗によって異なる場合があります)

- ◆「HAKU メラノフォーカスZ」(医薬部外品)は、シミができる肌特有のダメージ状態を徹底的に研究した先端のシミ予防研究から生まれた薬用美白美容液です。「シミのもと無限ループ」へアプローチし全方向から効かせます。
- ◆資生堂は、日本で初めて、美白有効成分4MSK<sup>\*2</sup>とm-トラネキサム酸<sup>\*3</sup>の2種同時配合に2011年に成功。当社だけが実現する、異なるアプローチを持つ2種の美白有効成分を同時配合した「抗メラノ機能体」として「HAKU」に搭載。また、新たにうるおいを与え肌環境を整えるZカット複合体<sup>\*4</sup>を配合。
- ◆「HAKU メラノフォーカス」はシミ予防のための美白美容液として2005年に誕生。発売以来15年連続美白美容液売上No.1<sup>\*1</sup>のブランドです。「メラノフォーカス」シリーズの累計売上は1,720万本<sup>\*5</sup>を突破し、多くのお客さまに愛用いただいています。

※1 インテージ SRI 美白美容液市場 2005年1月～2019年12月 金額シェア (美白以外の機能を兼ね備える商品は除く)

※2 4-メトキシサリチル酸カリウム塩 ※3 トラネキサム酸

※4 整肌・保湿成分:オトギリソウエキス、トルメンチラエキス、イチヤクソウエキス、グリセリン

※5 累計販売個数 2005年4月～2020年12月



【HAKU メラノフォーカスZ (医薬部外品)】

## 【商品一覧】

全3品目3品種

| 商品名                                  | 分類          | 容量  | 参考小売価格                  |
|--------------------------------------|-------------|-----|-------------------------|
| HAKU メラノフォーカスZ<br>(医薬部外品)            | 薬用<br>美白美容液 | 45g | 10,000円<br>(税込 11,000円) |
| HAKU メラノフォーカスZ レフィル<br>(医薬部外品)       |             | 45g | 9,700円<br>(税込 10,670円)  |
| HAKU メラノフォーカスZ 20<br>(医薬部外品) 【数量限定品】 |             | 20g | 3,700円<br>(税込 4,070円)   |

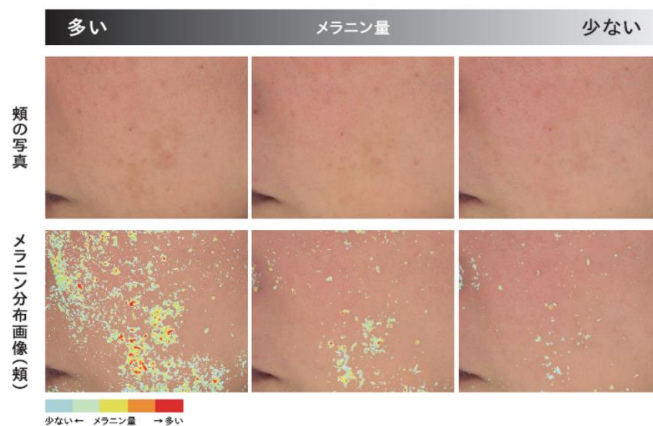
※価格は参考小売価格です。(店舗によって異なる場合があります)

## 発売背景

コロナ禍でお家時間が増え、自分自身と向き合う機会が多くなったことによる美容意識の向上やマスク生活の定着により、シミ対策として美容医療を選ぶ生活者が増えてきており、シミに悩んでいる30代から50代の女性のうち半数以上が美容医療を経験もしくは検討しています。一方で美容医療経験者の約7割がシミの再発を実感、約6割が美容医療と美白美容液を併用しており、美容医療を行っても毎日のケアとしての美白美容液も重要だと考えています。(20年4月資生堂調べ 30-50代シミ悩みのある女性 N=750)

HAKUは、美容医療を取り入れることを検討しているほど本気でシミに悩む全ての生活者に向けて、「シミのものと無限ループ」へアプローチし、全方位から効かせる美白美容液として、「HAKU メラノフォーカスZ」(医薬部外品)を発売します。独自機器によるメラニン量の解析など先端のシミ予防研究で導かれた知見を結集し、「シミのものと無限ループ」にアプローチして全方向から効かせる美白美容液の開発を目指しました。

### 資生堂独自開発肌測定機器により肌内のメラニン量の違いを解析



## HAKUについて

「HAKU」は、「シミができる肌は特有の肌状態にある」ことに着目し、シミ予防のための美白美容液ブランドとして2005年に誕生。資生堂の100年を超える肌研究と、シミ予防研究による先端技術の搭載により常に進化を続け、誕生以来、15年連続美白美容液売上No.1※1のブランドです。「メラノフォーカス」シリーズの累計売上は1,720万本※2を突破しています。

HAKUの美白美容液は、2021年のさらなるリニューアルで「美容医療か。美白美容液か。」というメインコピーとともに本気でシミに悩む女性たちを強く応援します。

※1 インテージ SRI 美白美容液市場 2005年1月～2019年12月 金額シェア (美白以外の機能を兼ね備える商品は除く)

※2 累計販売個数 2005年4月～2020年12月



### 2種の美白有効成分4MSK・m-トラネキサム酸(抗メラノ機能体)配合

新搭載成分・技術

美白有効成分 m-トラネキサム酸配合

美白有効成分 4MSK配合

白蓮果®HA配合

アンダーシールド配合

3D ターゲティング処方

Vカット 複合体配合

Zカット 複合体配合


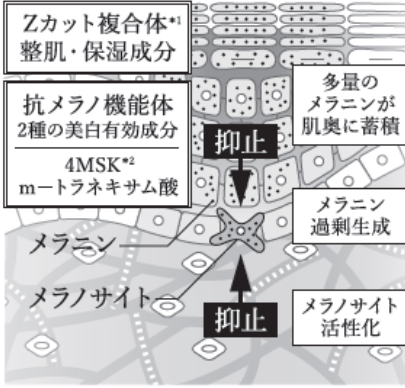




## プロモーションと販売チャネル

2021年3月下旬より順次、TVCM・WEBプロモーションを展開します。販売チャネルは、ドラッグストア・GM S・化粧品専門店など約18,000店です。あわせて、資生堂の総合美容サイト「ワタシプラス」などのECサイトでも販売します。

【商品概要】

※価格は参考小売価格です。(店舗によって異なる場合があります)

| 商品名・容量・価格  | 商品特長  |
|--|---|
| <p>HAKU メラフォーカスZ<br/>(医薬部外品)<br/>薬用 美白美容液<br/>45g<br/>10,000円(税込 11,000円)</p>                 | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>シミができる肌特有のダメージ状態を徹底的に研究。<br/>「シミのものの無限ループ」へアプローチし、全方向から効かせる。</p> </div> <p style="text-align: center;">(肌断面イメージ図)</p>  <p>*1 オトギリソウエキス、イチヤクソウエキス、トルメンチラエキス、グリセリン<br/>*2 4-メトキシサリチル酸カリウム塩</p>   |
| <p>HAKU メラフォーカスZ<br/>レフィル<br/>(医薬部外品)<br/>薬用 美白美容液<br/>45g<br/>9,700円(税込 10,670円)</p>       | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>抗メラノ機能体</b>: 2種の美白有効成分(4MSK<sup>※2</sup>、m-トラネキサム酸<sup>※3</sup>) 配合</p> <p><b>Zカット複合体<sup>※1</sup> 新配合</b></p> <p><b>アンダーシールダー<sup>※4</sup> 配合</b></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○根本原因へ働きかけ、メラニンの生成を抑え、シミ・そばかすを防ぐ。</li> <li>○うるおいに満ちて、明るく澄んだ透明感のある肌へ導く。</li> <li>○2種の美白有効成分を、肌奥まで届け効かせる。</li> <li>○Zカット複合体が、うるおいを与え肌環境を整える。</li> <li>○乾燥や肌荒れを防ぐ。</li> <li>○なめらかな美容液が、気になる部分にピタッと密着する。</li> <li>○無香料・アレルギーテスト済み・ニキビのものとになりにくい処方。<br/>(全てのかたにアレルギーが起きない、ニキビができないというわけではありません)。</li> </ul> <p>※1 整肌・保湿成分: オトギリソウエキス、トルメンチラエキス、イチヤクソウエキス、グリセリン<br/>※2 4-メトキシサリチル酸カリウム塩<br/>※3 トラネキサム酸<br/>※4 整肌・保湿成分: ホワイトリリー、塩酸グルコサミン、グリセリン</p> <p>&lt;使用方法&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毎日の朝・夜に、化粧水で肌を整えてから使用します。</li> <li>○ディスペンサー2回押し分(1回分使用量の目安: 0.15g × 2回)をとり、シミ・そばかすなどが気になる部分を中心に、顔全体に丁寧になじませます。</li> </ul> |
| <p>HAKU メラフォーカスZ 20<br/>(医薬部外品)<br/>薬用 美白美容液<br/>20g<br/>【数量限定品】<br/>3,700円(税込 4,070円)</p>  |   |

## 【1】最新の研究成果

### 着眼点

### 美容医療で改善しにくいシミとその原因に着目

資生堂はシミを消すプロセスで用いられるレーザー治療に着想を得て研究を進めました。レーザー治療はその高い効果を実感される方が多くいますが、「時間が経ってシミが戻ってきた」という声も聞かれます。美容医療におけるシミレーザー治療は、表皮のメラニンレーザーにより破壊し、ターンオーバーに伴って排出させることで、色素沈着の改善を実現します。レーザー治療は高い有効性が認められている一方で、その治療効果はシミごとに大きく異なることも知られています。シミ部位の血管がこのシミ改善に何か関係があるのではないかと考え、レーザー治療を用いて表皮のメラニンを除去して肌を観察しました。

### シミ部位の血管密度が色素沈着の改善に影響することを発見

研究の結果、血管密度が高いシミほど、レーザー治療による色素沈着の改善率が低下していることが分かりました(図 1,2)。この結果は、シミ部位の肌の奥に根付く血管が、シミの改善・再発に影響を及ぼしていることを示唆しており、美白ケアにおいて血管ケアが非常に重要であることを示しています。

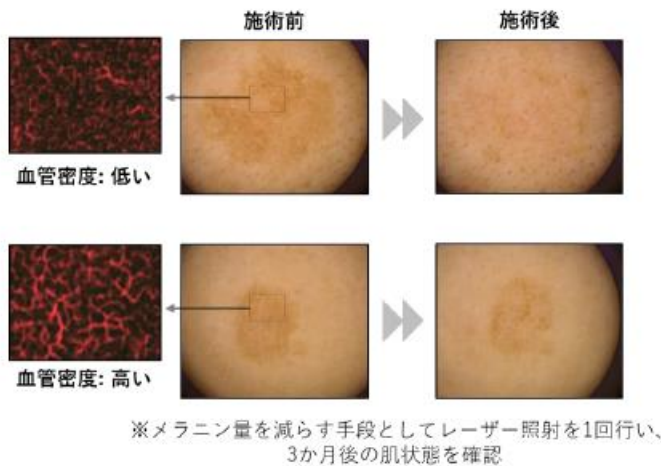


図 1: 血管密度が高いほど色素沈着は改善しにくい

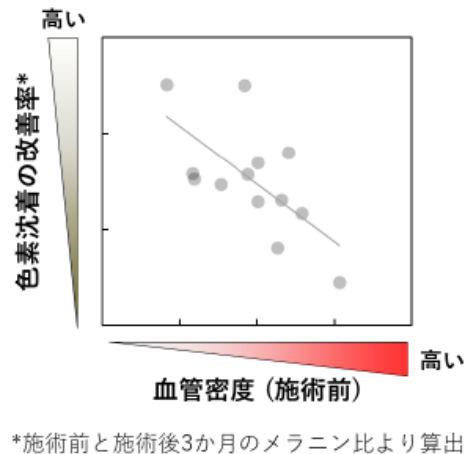
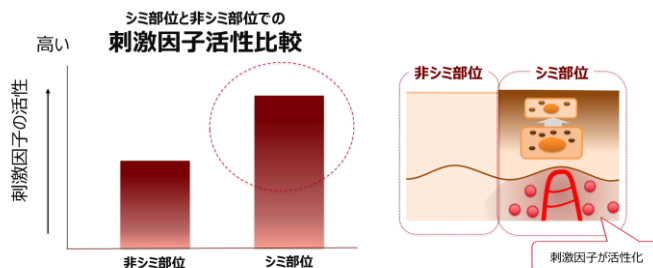


図 2: シミ部位の血管密度と色素沈着改善率は逆相関する

### シミ部位での異常血管の新生要因とソリューション

これまでも既に資生堂では、シミ部位には異常な毛細血管ネットワークが存在し、その血管がメラニン生成を促す要因となっていることを解明してきました。今回、シミ部位の血管高密度化の要因となる血管新生がなぜそこに発生するのか、その謎を追究しました。

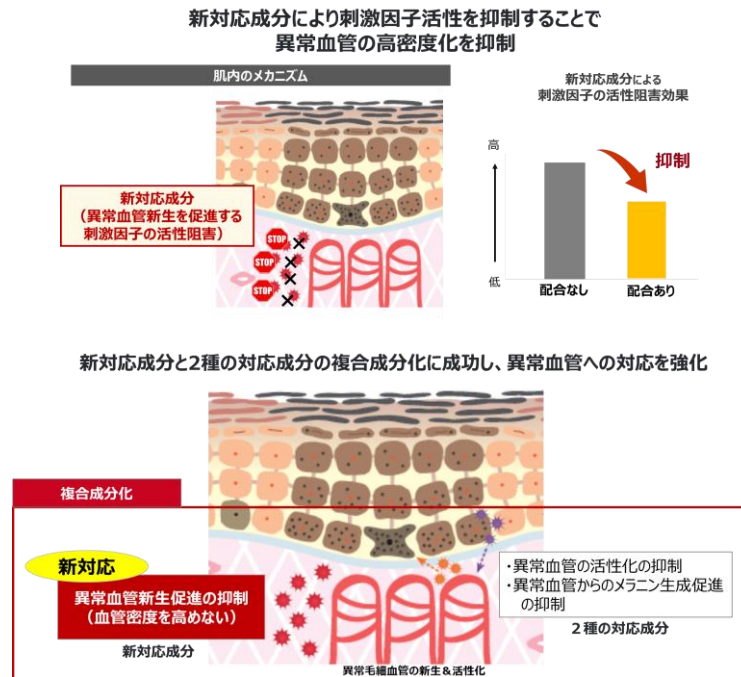
最新の技術を用いて毛細血管周辺を立体的に観察した結果、シミ部位の血管周辺には血管新生を促進する刺激因子(ウロキナーゼ)が特異的に活性化していることを突き止めました。



新発見

シミ部位では刺激因子の活性が高まっている

さらに、刺激因子の活性を抑制する成分を探索した結果、その効果のある新対応成分を見出しました。今回新たに効果を見出した成分と、2017年に発表したシミ部位の異常血管から派生するエラーに対応する2種の成分を合わせて、複合成分化に成功しました。



## 【2】 総まとめ

### 100年を超える資生堂のシミ予防研究の成果

資生堂が研究開発を始めてから100年余。いつの時代も先端のサイエンスでこたえ続けてきました。1990年代のアルブチンを皮切りに美白有効成分を次々と開発。日本で認可されている美白有効成分約20種類のうち、最多の5種類(アルブチン、安定型ビタミンC誘導体、ビタミンCエチル、m-トラネキサム酸※1、4MSK※2)を薬事開発し、革新の美白化粧品を送り出してきました。

また、長年にわたり、「メラニンの生成」という現象だけではなく、シミができる肌特有のダメージ状態を肌の表層から奥深くまで全方位的に研究してきました。最新の研究では、美容医療で改善しにくいシミとその原因に着目。レーザー治療による色素沈着は血管密度が高いシミほど改善しにくいことを発見しました。また、シミ部位では刺激因子によって血管新生が促進され、血管の高密度化につながることを示唆され、その要因に対するソリューションを開発しました。今後もシミ予防の新たな価値創出に向けて研究を進めていきます。

※1 トラネキサム酸 ※2 4-メトキシサリチル酸カリウム塩

### これまで解明した、シミができる肌特有のダメージ状態

